

「JOCオリンピック教室」 を開催します（山南学園）

公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)がオリンピック・ムーブメント推進事業の一つとして、教育機関等に協力をいただき実施しているJOCオリンピック教室を本市にて開催します。

1 開催日

令和7年7月11日(金)10時50分～15時40分

2 場所

岡山市立山南学園(東区北幸田)

3 主催

公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)

4 後援

スポーツ庁

5 協力

公益財団法人JKA、岡山市

6 教師役となるオリンピック

竹中 七海(たけなか ななみ) 先生(体操/新体操)

※プロフィール、主な成績等は別紙参照

7 内容

JOC オリンピック教室とは、オリンピック出場選手(オリンピック)が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、その価値がオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かせることを授業(運動+座学)を通して学習してもらうことを目的に実施しています。

- ・実施対象 中学校2年生(8年生) 2クラス 計46名
1クラス毎に連続2コマ(運動50分+座学50分)の授業

日時		クラス	講師	内容
7/11(金)	3時限目(10:50~11:40) 4時限目(11:50~12:40)	8年 A 組	竹中 七海 先生	運動(体育館) 座学(教室)
	5時限目(13:50~14:40) 6時限目(14:50~15:40)	8年 B 組	竹中 七海 先生	運動(体育館) 座学(教室)

※運動の内容

・・・オリンピックの専門競技の技術指導(スポーツ教室)ではなく、運動が苦手な生徒も参加できるように工夫された運動プログラム

※座学の内容

・・・オリンピック個人の経験等を通して「オリンピックの価値」等を分かりやすく伝えると共に、運動の時間を通じて感じたことを考えるもの

8 取材について

・通常時と同様、授業に集中できる環境の保持にご協力ください。

・取材希望は、7月9日(水)までにスポーツ振興課へご連絡ください。

取材終了後、記録用に報道データ(紙面PDFやURL等)をご提出ください。

・運動(体育館)

授業に支障のない範囲で、ステージ側以外の3方向の壁際から、自由に動画・写真撮影していただいて差し支えありません。但しオリンピックと生徒間の移動はご遠慮ください。

・座学(教室)

動画撮影場所は教室後方出入口付近とし、動画撮影時間は授業冒頭(10分程度、その後機材を廊下へ移動)のみとします。

写真撮影は、その後も教室後方から自由にさせていただいて差し支えありません。動画・写真撮影共に、廊下や教室内を移動しての撮影はご遠慮ください。

・運動・座学共に、フラッシュを使用しての撮影はご遠慮ください。

・撮影時に配慮が必要な生徒がいる場合、対応についてご協力ください

・スタッフは指定の場所以外で撮影を行う場合がありますので、予めご了承ください。

・オリンピックの映像や写真、スライド等、オリンピックの個人資料の撮影はご遠慮ください。

・オリンピック及び生徒への個別取材は、6時限目(14:50~15:40)の終了後となります。

複数社の取材がある場合、代表者1名による質疑応答にご協力ください。

- ・本事業は、換気や用具等の取扱いについて、感染症等拡大防止対策を一部講じて実施いたしますので、ご協力ください。

9 その他

- ・岡山市は「JOCパートナー都市」として、JOCが進めるオリンピック・ムーブメントの推進に協力しています。

【問い合わせ先】

岡山市スポーツ振興課 サダカネ 貞包・丸尾 直通086-803-1616 内線4742

オリンピック先生



たけなかななみ

竹中 七海 先生

【体操／新体操】

- 生年月日 1998年12月2日
- 出身地 愛知県名古屋市
- 出身校 名古屋経済大学市邨中学校ー
名古屋経済大学市邨高等学校ー
日本女子体育大学



プロフィール

5歳から新体操競技を始め、中学2年時に日本代表チームの練習生に選出され、高校1年時に正式メンバーとなる。2016年リオデジャネイロ大会ではリザーブメンバーとしてチームを支え、その経験を糧に2021年に開催された東京2020大会へ出場、団体総合8位入賞を果たす。2024年ワールドカップバクー大会では団体種目別フープ、リボン・ポールで優勝。同年現役を引退。引退後は企業に勤務しながら、新体操競技の講習会やイベントを通じて後進の育成や競技の普及に尽力している。また、アスリートキャスターとしてスポーツの魅力発信にも努めている。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2021年	東京大会	団体総合	8位
-------	------	------	----

<国際大会>

2017年	世界新体操選手権	団体総合	3位
2019年	世界新体操選手権	団体総合	2位
		種目別ポール	優勝
		種目別フープ・クラブ	2位
2019年	ワールドカップバクー大会	団体総合	優勝
2024年	ワールドカップバクー大会	種目別フープ	優勝
		種目別リボン・ポール	優勝

体操／新体操

手具を使いながら音楽に合わせてリズムカルな演技を行い、芸術性を競う採点競技。演技は13メートル四方のフロアマットで行われ、個人競技と団体競技の大きく2つに分けられます。個人は「ロープ（個人はジュニアのみ）・フープ・ポール・クラブ・リボン」の5つのうち、オリンピックではロープ以外の4種目を1人の選手が行います。団体は、1チーム5人の選手によって2種目が行われます。



写真：JOC：吉村可奈美/フォート・キシモト